

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	教育と人間 (Education and Humanity)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	哲学的人間観・社会観と教育論		
担当者名 (Instructor)	西山 晃生(NISHIYAMA TERUO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

哲学を中心としたさまざまな文献を読み解き、人間や社会をめぐるものの見方と教育に関する思想との結びつきを理解する。

Read and interpret a variety of mainly philosophical texts to understand the connection between the perspectives of people and society and the ideas of education.

授業の内容(Course Contents)

教育は、人間が自己を形成するための助けとなるものであると考えられています。しかし、この場合「自己」とはどのようなものでしょうか。社会に貢献する人材かもしれませんし、自律的な判断と行動の主体かもしれません。答えは背景にある考え方によって変わってきそうです。したがって、教育の目的と効果・結果について議論するためには、社会と人間に関する確固とした視点が必要になります。本講義では、古代から近現代までの(主に西洋哲学の)文献を扱い、その人間観と社会観を読み解き、教育との結びつきを検討します。

Education is considered to be something that helps people form their own self. But what is "self" in this case? It may be a human resource who contributes to society, or it may be the subject of autonomous judgment and action. The answer is likely to change depending on the underlying ideas. Therefore, in order to discuss the purpose, effects, and results of education, we need a solid perspective about society and people. In this course, we will look at literature from ancient times to modern times (mainly in Western philosophy), read and interpret its views of people and society, and examine the link with education.

授業計画(Course Schedule)

1. 全体のイントロダクション
2. ソフィストとソクラテスの人間論 『ソクラテスの弁明』他の対話編を読む
3. プラトンの哲学・倫理学と教育論 『国家』他の対話篇を読む
4. アリストテレスの倫理学 『ニコマコス倫理学』を読む
5. アリストテレスの教育論 『政治学』他を読む
6. 近代社会と「啓蒙」について
7. ルソーの人間論 『人間不平等起源論』他を読む
8. ルソーの社会論 『社会契約論』を読む
9. ルソーの教育論 『エミール』を読む
10. カントの倫理学 『人倫の形而上学の基礎づけ』『実践理性批判』他を読む
11. カントの教育論 「啓蒙とは何か」『教育論』講義を読む
12. フーコーの近代論 『狂気の歴史』『言葉と物』を読む
13. フーコーと現代 『監獄の誕生』『性の歴史』を読む
14. 全体のまとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

前の回の続きから講義を進めることが多くなるので、復習をしておいた方が理解しやすくなります。授業前にプリントやノートを見直し、大まかな内容を把握しておいてください。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(100%)

テキスト(Textbooks)

テキストは使用しません(プリントを配布します)。

参考文献(Readings)

1. プラトン、2012、『ソクラテスの弁明』、光文社古典新訳文庫
2. プラトン、1979、『国家』(上・下)、岩波文庫

3. アリストテレス、2002、『ニコマコス倫理学』、京都大学学術出版会
 4. ルソー、2016、『人間不平等起源論』、講談社学術文庫
 5. ルソー、1962-4、『エミール』(上・中・下)、岩波文庫
 6. カント、2000、2002、『カント全集』(第7巻、20巻)、岩波書店
 7. フーコー、1977、『監獄の誕生』、新潮社
- 他の参考文献(上に挙げた文献の原典や別の翻訳を含む)は講義中に指示します。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)